

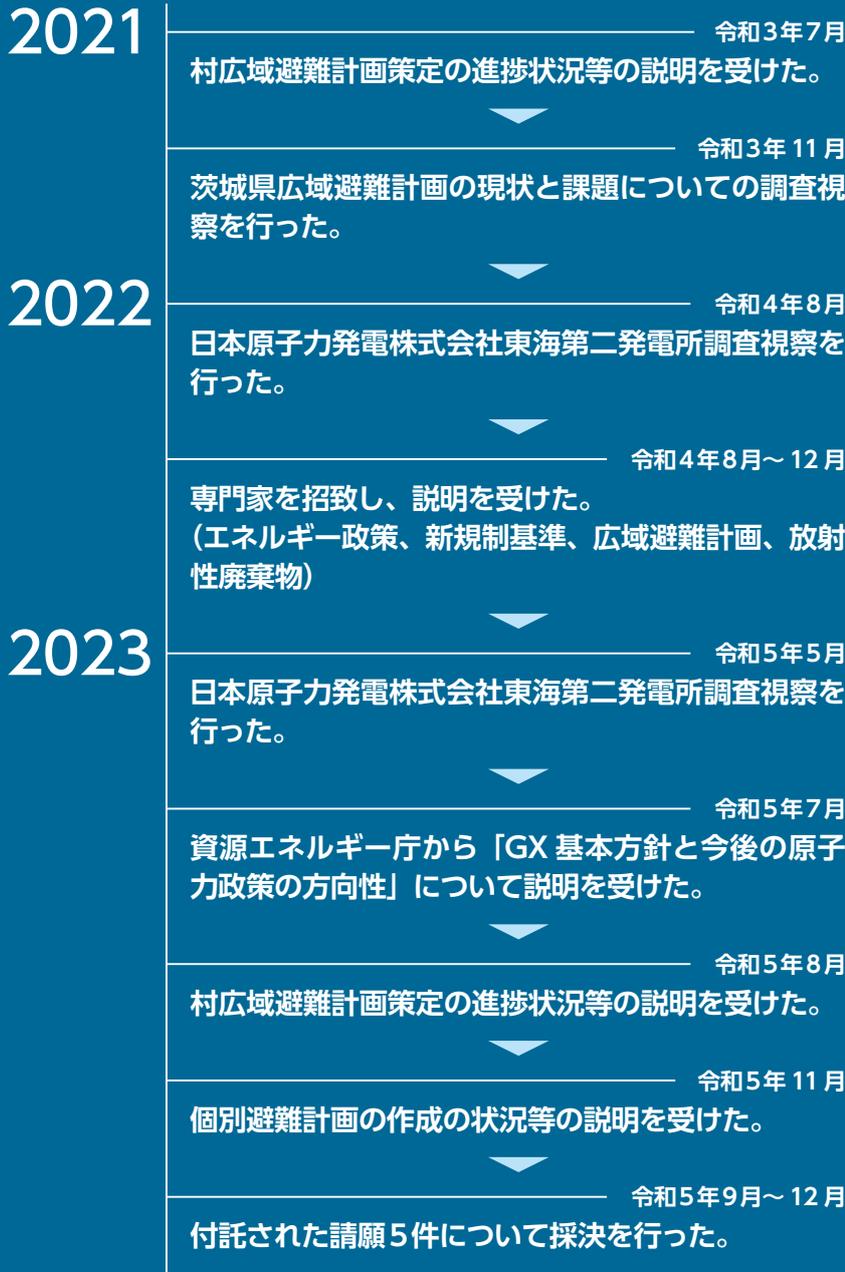
再稼働の請願採択

原子力問題調査特別委員会では、再稼働に関する請願が令和3年6月に付託され、全5件の再稼働に関する請願の審査を行いました。その間、専門家の招致、東海第二発電所の現地視察、請願者、県および村から説明を受けるなどの調査を行い、令和3年6月から令和5年12月までに全41回の委員会を開催しました。令和5年12月定例会に請願審査報告書を提出し、採決を行った結果、2件の請願を採択しました。

請願審査のながれ

請願者から提出された請願は、委員会に付託され、委員会での審査終了後、委員会審査報告書を議会に提出し、本会議で審議が行われます。

採決までのながれ



国への意見書

発議第2号

日本原子力発電株式会社東海第二発電所の再稼働についての意見書について

賛成

新政とうかい 大内則夫
原子力発電は地球温暖化を防止するCO2排出量の削減、エネルギー自給率改善、ベースロード電源として電源の安定供給に貢献している。政府も東海第二を含む7基の原子力発電所を再稼働させる方向性を明確に示している。

可決

大名美恵子
福島で大事故を起こした原発を「クリーンエネルギー」と称して再稼働・新設に突き進んでいる日本を、国際社会は「脱炭素の取り組みが遅れ、責任を果たしていない」と批判していることの直視を。

反対